

マイゾウ・メーノス（まあーまあー）の世界 ブラジル

ブラジルを訪問する人、ブラジルに関心のある人にお勧めする！！

梅津 久 記

第25話ーブラジルコストとマナウスコスト

ブラジルで、海外との経済環境を比較する時に問題になるのが、「ブラジルコスト」で、これがブラジルの経済成長を阻む大きな理由となっており。また、ブラジル北部アマゾン地域に展開されているマナウス・フリーゾーン(ZFM)又は、マナウス工業極(PIM)を語るときには「マナウスコスト」が取り沙汰される。

ブラジルの企業運営コスト、製品価格を他国と比較して高くなることを「ブラジルコスト」と云って問題視される。

その要因としては、“マイゾウ・メーノスの世界 ブラジル”でも多方面からブラジルの習慣、環境、性質を述べてきていますが、日本の約 24 倍の国土の中に点在する産業・工業形体、これらを結ぶ大量物流網の貧弱な体制、鉄道網の不備、不足からその大部分をトラック輸送、湾岸水路輸送に頼っていることから物流コストがあげられる。他国との取引における輸出入手続きも他国では 24 時間以内、時間単位で通関できる手続きが、ブラジルでは数日を要する通関・税関費用、その他にも、過度で複雑な財務・経理・税務処理に対応する間接費用、労働者保護が先走りする社会福祉費用を含む高額な人件費と労務費、これらは先進国のそれらと肩を並べるくらい高い。中でも給料の格差では、一般社員と上級管理職との給与の差は、30 倍から 50 倍の開きがありこれがブラジルの給与体系である、これも「ブラジルコスト」を押し上げている要因なのである。

その他にも、古くからの官僚社会と機関構造にともなう複雑な諸手続き、書類の多さと手続き期間の長さ、世界でもトップの諸税負担率と高金利、燃料費（電気、ガス、原油派生品類）や原材料（鉄鋼類）の高値、これら全てが魔のサイクルで物価が高価となり、世界経済界から置き去りになってしまう。

高い人件費の中味を列記すると、契約賃金に対して、約 70%におよぶ負担金支払いの義務がある、これは世界で最も高いといわれている；

- * 全国社会保険院への社会保険料(INSS)
- * 工業社会サービス機構負担金(SESJ)
- * 工業職業訓練機関負担金(SENAI)
- * 小規模・零細企業支援サービス機関(SEBRAE)
- * 労災保険(SAT)
- * 勤続機関保障基金への退職金積み立て(FGTS)
- * 社会統合計画(PIS)、公務員厚生年金(PASEP)
- * 13 か月給与
- * 13 か月給与に対する社会保険
- * 解雇時発生する金属機関保障基金積立金にたいする賠償金
- * 休暇手当

これら支払い義務以外に、手厚い従業員への恩典、社会福利厚生費用が発生し、支払い義務と合わせると、契約給与の実の約 183%になる、すなわち給与の約 3 倍近い人件費となる一驚きです！！これらのコストは；

- * 通勤手当
- * 病気休暇
- * 労災休暇
- * お産休暇
- * 通勤手当
- * 昼食手当
- * 不健康作業手当
- * 危険作業手当
- * 解雇手当
- * 家族手当
- * 葬儀手当
- * 保育所手当
- * 医療・歯科健康保険
- * 団体生命保険
- * 利益参加分配金(PLR)
- * その他、労働組合との協定で定められる福利厚生費用

また、「マナウスコスト」では、マナウスが税制恩典地域として指定され、税制恩典を受けて操業している為に、各種の施行義務が発生していること、ブラジル国内の“外国”と言われる隔離された地域の為に国内一の物価高都市である、衣食住の製品は全て 2700km離れた南から輸送、生鮮食料品は空輸、工業資材も全て南から 10 日から 15 日かけて輸送、製品も同様の期間をかけて消費地へ運ばれる、技能工、専門職、管理職不足は、他の地域から特別手当・恩典を加味しての派遣または採用となり、コストアップにさらに拍車がかかってしまう。

さらに近年、労務費を押し上げているのが、労働者の安全と職業病に関する規制の強化に対する労働環境改善費用である。機械・設備の安全、エルゴノミクス、不健康・危険作業の安全、集団・個人防具等をはじめに 36 に及ぶ規則(NR)が制定されており、労働監督局の指摘、多額の違反金、個人・集団訴訟を回避するために多額の投資と費用が発生している。

また、労働訴訟の件数も非常に多く、雇用・給与問題、職業病、パワハラ・セクハラ問題を中心にブラジル全土で現在 300 から 500 万件とも云われる労働訴訟が起っており、権力もお金もない労働者を保護する裁判のあり方から労働者が勝訴している場合が多い。これらも労務リスクコストとして「ブラジルコスト」の中に取り入れられる。

—次号 26話へ続きます—